

日本地質学会第123年学術大会（2016東京・桜上水大会）講演プログラム（ポスター）

■ 9月11日（日） コアタイム 13:00～14:20 3号館5階ポスター会場

T6. 日本列島の構造発達史再考

T6-P-1

ジルコンのカソードルミネッセンスを用いた放射線損傷の評価。土屋裕太・鹿山雅裕・西戸裕嗣・能美洋介

T6-P-2（エントリー）

白亜紀前弧盆地に記録された後背地の経年変化：東北地方白亜系砂岩の碎屑性ジルコンU-Pb年代測定。梅村祐介・磯崎行雄・堤之恭

T6-P-3（エントリー）

古生代中葉日本の弧-海溝系の破片：高知県西部の黒瀬川帯の花崗岩と砂岩のジルコンU-Pb年代測定。長谷川遼・磯崎行雄・堤之恭・安井敏夫

T6-P-4（エントリー）

東京都日の出町坂本地域の黒瀬川帯蛇紋岩メランジュ中の430-450 Ma花崗岩類ブロック。沢田輝・磯崎行雄・坂田周平

T7. 文化地質学

T7-P-1

山形城巽櫓、坤櫓の流紋岩、デイサイト石垣石材の岩石記載。大友幸子

R3. 噴火・火山発達史と噴出物

R3-P-1

小笠原群島古第三紀母島列島の地質。金山恭子・海野進・石塚治

R3-P-2（エントリー）

檜・穂高カルデラ内におけるカルデラ壁崩壊角礫岩とカルデラ床の識別。丑館沙綾・原山智

R3-P-3

火山山麓扇状地-デルタ-湖底システム内で追跡できるラハール堆積物の層序と編年：高頻度小規模噴火の履歴解明に向けて。片岡香子・長橋良隆・ト部厚志

R3-P-4

三浦半島南部に分布する箱根東京テフラ。笠間友博

R3-P-5

Samalas-Rinjani火山コンプレックスのカルデラ形成噴火に先行する長期噴出率の減少とRinjani-Segara Anak火山の長期噴出率における体積予測型の特徴。土志田潔・高田亮

R4. 変成岩とテクトニクス

R4-P-1（エントリー）

幸太郎石：蛇紋岩に捕獲された、高压変成作用を受けた蛇紋岩関連オリストストローム。東豊土・加藤孝幸・和田恵治・斉藤晃生・佐々木克久

R4-P-2（エントリー）

北海道旭川市周辺の神居古潭変成岩のテクトニクスの再検討：ジルコンU-Pb年代および熱構造。SHIN Wonji・竹下徹・岡本あゆみ

R4-P-3

四国中央部・三波川帯緑泥石帯低温部の苦鉄質片岩の起源とプログレド変成作用。遠藤俊祐

R4-P-4★

石英仮像内の非晶質SiO₂相：蘇魯超高压エクロジヤイトの例。田口知樹・三宅亮・榎並正樹

R4-P-5（エントリー）

福岡県飯塚地域に産する変成岩類の変成温度圧力条件。深見潤・大和田正明・兵土大輔

R4-P-6

北部九州東部に分布する田川変成岩類に貫入する堇青石花崗岩質岩脈の成因。柚原雅樹・日高万莉亜・清浦海里

R4-P-7

伊那市長谷、泥質マイロナイトのザクロ石ボーフィロクラス。小野見

R4-P-8

東南極セール・ロンダーネ山地北部に産するFe-Alに富むグラニュライト中の黒雲母-石英シンプレクタイト。馬場壮太郎・小山内康人・中野伸彦・外田智千・足立達朗・豊島剛志

R4-P-9（エントリー）

ザクロ石とジルコンの微量元素組成から制約する高温変成作用と流体の挙動：東南極セール・ロンダーネ山地の例。東野文子・河上哲生・土屋範芳・サティシユクマール・石川正弘・グランサムジェフ・坂田周平・平田岳史

R4-P-10（エントリー）

Compositional Zoning of Garnets across Main Central Thrust and its implication on Himalayan Tectonics, western Himalaya, India. Saha Shivaji・Takeshita Toru・Okamoto Ayumi S.

R4-P-11

北部マリアナ前弧域から採取されたかんらん岩の微細構造解析。針金由美子・石塚治・前川寛和

R4-P-12（エントリー）

高压高温条件下における隠岐島後捕獲岩のP波・S波速度同時測定。高橋宏和・石川正弘

R4-P-13

Inverse Batschelet分布を用いた鉱物粒子配列データの統計学的記述。松村太郎次郎・増田俊明

R13. 沈み込み帯・陸上付加体

R13-P-1（エントリー）

三浦層群三崎層火山噴出物中の異質礫の岩石学的研究。鈴木陽一・平野直人

R13-P-2（エントリー）

サラシ首層周辺の地質構造・層序および砂岩物性。潮崎翔一・原田隆弘・宮田雄一郎

R13-P-3（エントリー）

高知県馬路-魚梁瀬地域の安芸構造線周辺から産出する後期白亜紀及び始新世放散虫化石。原康祐・原英俊

R13-P-4

宮城-福島沖日本海溝軸近傍における高分解能反射法地震探査。中村恭之・小平秀一・尾鼻浩一郎

R13-P-5

ホウ素・リチウム同位体を用いた日本海溝プレート境界断層浅部における流体岩石相互作用の評価。石川剛志・永石一弥・松岡淳・亀田純・SAMPLE James

R13-P-6（エントリー）

すべり弱化過程の石英質岩の断層表面における非対称構造の形成と弱화에伴う形状変化。飯田大貴・堤昭人

R13-P-7（エントリー）

海洋プレート上で採取された生物起源堆積物の剪断組織の発達過程。並木由香・堤昭人

R13-P-8（エントリー）

沈み込み帯堆積物の含水条件と間隙水圧一定条件下での摩擦挙動の検討。比嘉咲希・並木由香・堤昭人

R13-P-9（エントリー）

白亜系四万十帯構成岩類の震源域条件における摩擦特性。阿部浩典・星野紘輝・澤井みち代・金川久一

R13-P-10（エントリー）

掘削パラメータを利用した南海トラフC0002サイトにおける連続的な岩石強度の推定。濱田洋平・北村真奈美・山田泰広・真田佳典・モーキョー・廣瀬丈洋

R13-P-11

底付け付加体の鉱物脈の方位解析による古応力と駆動流体圧比の推定。佐藤活志

R13-P-12（エントリー）

犬山シークエンスの下底をなす美濃帯大脇露頭の構造解析。長谷川亮太・山口飛鳥・福地里菜・浜橋真理・清水麻由子・芦寿一郎

R13-P-13（エントリー）

被熱構造と圧密履歴からみた房総半島新第三系前弧海盆の発達。神谷奈々・山本由弦・張鋒・栗本悠平・王乾・竹村貴人

R13-P-14（エントリー）

付加体深部の第三の移動様式。中川美菜子・坂口有人

R17. 情報地質とその利活用

R17-P-1

オープンスタンダードを用いた3次元地質モデルのためのWeb可視化システムの開発。根本達也・升本真二・野々垣進

R17-P-2

フリーオープンソースソフトウェアを利用した柱状図データの3次元可視化とWeb共有。野々垣進・升本真二・根本達也

R17-P-3

日本シームレス地質図3Dの高度化と高速化。西岡芳晴・長津樹理

※講演番号は、シンポジウム（S）、トピックセッション（T）、レギュラーセッション（R）のそれぞれに、ポスター（P）/口頭（O）の記号と各セッション内での通し番号を付与しています。

※講演要旨とプログラムとで発表題目や著者氏名が異なっている場合、講演要旨を正しいものとします。

※太字氏名：代表発表者。★印：ハイライト（本誌 p. (12) を参照）。（招待）：招待講演。（エントリー）：優秀ポスター賞エントリー講演

日本地質学会第123年学術大会（2016東京・桜上水大会）講演プログラム（ポスター）

■ 9月11日（日） コアタイム 13:00～14:20 3号館5階ポスター会場

R18. 環境地質

R18-P-1

2100年における九十九里地域の累積沈下と潜在海域. **八武崎寿史**・風岡 修・香川 淳

R18-P-2

浅部地質構造が支配する埋立地の液状化—流動化：地震動と間隙水圧の観測からの制約. **荻津 達**・酒井 豊・風岡 修・香川 淳・加藤晶子・吉田 剛・八武崎寿史・亀山 瞬

R18-P-3

「2011年長野県北部の地震」により形成された天然ダムの5年後の現状. **室田真宏**・赤井静夫・塩野敏昭・小林保男・赤井理一郎・吉永佑一

R18-P-4（エントリー）

2011年東北地方太平洋沖地震後の千葉県九十九里浜における天然ガス湧出の分布状況（2011年～2016年）. **吉田 剛**・八武崎寿史・香川 淳・加藤晶子・荻津 達・風岡 修

R18-P-5

湖口開削による水環境回復効果とその持続性に関して—北海道・能取湖の事例—. **香月興太**・瀬戸浩二・斉藤 誠・野口拓郎

R19. 応用地質学一般およびノンテクトニック構造

R19-P-1

細骨材の粒子径状—ボールミルとロッドミルの比較—. **大河内誠**・片山達章・中村佳博・香取拓馬

R19-P-2

Evaluating the susceptibility of landslide landforms in Japan using slope stability analysis: A case study for the Kumamoto earthquake. **CHEN Chi-Wen**・**YAMADA Ryuji**・**IIDA Tomoyuki**

R19-P-3

2016年熊本地震によって甲佐町府領に出現した微小な地表変状. **亀高正男**・佐護浩一・新谷俊一

R20. 地学教育・地学史

R20-P-1（エントリー）

サイエンティフィック・イラストレーション：第1回地球科学のための図の作成スキルを身につけるワークショップ開催報告. **笹岡美穂**

R20-P-2

サメの歯化石の発掘を主体とした地質体験学習とその展望. **千代田厚史**・荒井 豊・原田吉樹

R20-P-3

高校生の火成岩組織の理解度と火成岩標本の鑑定能力. **廣木義久**・寺戸 真

R20-P-4

地層剥ぎ取り技法を用いた地球「現象」の実物標本化と博物館資料の新たな可能性. **石浜佐栄子**

R20-P-5

粉体中に横ずれ断層を形成する組立て式モデル実験装置の性能試験. **川村教一**・山下清次・石水英梨花

R21. 第四紀地質

R21-P-1

平成28年（2016年）熊本地震に伴って発生した地表地震断層の詳細構造. **小俣雅志**・郡谷順英・谷口 薫・榊原庸貴・阿部直樹・頼田修一朗

R21-P-2（エントリー）

音波探査による備讃瀬戸海域沖積層の再検討. **大平 亮**

R21-P-3（エントリー）

貝形虫群集に基づいた中海の過去2800年間の古環境変遷. **小原一馬**・山田 桂・瀬戸浩二

R21-P-4

濃尾平野臨海部鍋田における沖積層下部のテフラ分析 (3). **牧野内猛**・檀原 徹・堀 和明・野々垣 徹

R21-P-5（エントリー）

上総層群国本層のコアの高解像度珪藻解析. **田中郁子**・矢頭政幸・上野友輔・北場育子・佐藤裕司

R21-P-6（エントリー）

霞ヶ浦西浦湖岸平野堆積物へのpIRIR年代測定法の適用. **羽田一貴**・伊藤一充・田村 亨・山口直文

R21-P-7（エントリー）

琵琶湖愛知川河口沖コアの珪藻化石群集と湖水面変動との関係. **鈴木勇志**・井内美郎・大塚佳祐・寺田圭希

R21-P-8

猪苗代湖湖底堆積物中のイベント堆積物の起源と堆積機構. **井内美郎**・鈴木勇志

R21-P-9（エントリー）

十和田火山先カルデラ期の噴火活動および火山ガラス組成. **太田 光**・柴 正敏

R21-P-10

光ルミネッセンスによる国内の第四紀地質年代の解明. **田村亨**

R24. 鉱物資源と地球物質循環

R24-P-1

ちきゅう（CK16-01）航海における沖縄海底熱水域掘削試料の船上物性測定. **正木裕香**・谷川 亘・小森省吾・鳥本淳司・榎尾雅人・大田雄介・濱田洋平・野崎達生・石橋純一郎・熊谷英憲・CK16-01 Leg2 乗船者一同

会場：3号館2階ラウンジ
（市民講演会会場（3205教室）前）

R6. ジオパーク

（コアタイム：13:00-14:20）

R6-P-1

ジオパーク新潟国際フォーラムでの展示体験活動. **小河原 孝彦**・市橋弥生・佐藤信之・井伊 徹

R6-P-2

佐渡ジオパークにおける地域住民によるジオサイト整備. **市橋弥生**

R6-P-3

群馬県立自然史博物館の教育普及プログラムを利用した下仁田ジオパークにおける学際的コンテンツの開発. **菅原久誠**・ジオパーク下仁田協議会

OR. アウトリーチセッション

コアタイム（13:00～14:00, 16:30～17:30）

（※ポスター賞審査対象日）

OR-P-1

千葉県環境研究センター地質環境研究室アウトリーチ～大地のやさしい使い方～. **八武崎寿史**・風岡 修・香川 淳・加藤晶子・吉田 剛・荻津 達・小倉孝之・亀山 瞬

OR-P-2（エントリー）

『北海道自然探検ジオサイト107の旅』出版 ～北海道地質百選の取り組み～. **鬼頭伸治**・石井正之・垣原康之・重野聖之・田近 淳・中川 充・宮坂省吾

※講演番号は、シンポジウム（S）、トピックセッション（T）、レギュラーセッション（R）のそれぞれに、ポスター（P）／口頭（O）の記号と各セッション内での通し番号を付与しています。

※講演要旨とプログラムとで発表題目や著者氏名が異なっている場合、講演要旨を正しいものとします。

※太字氏名：代表発表者。 ★印：ハイライト（本誌 p. (12) を参照）。 （招待）：招待講演。（エントリー）：優秀ポスター賞エントリー講演